

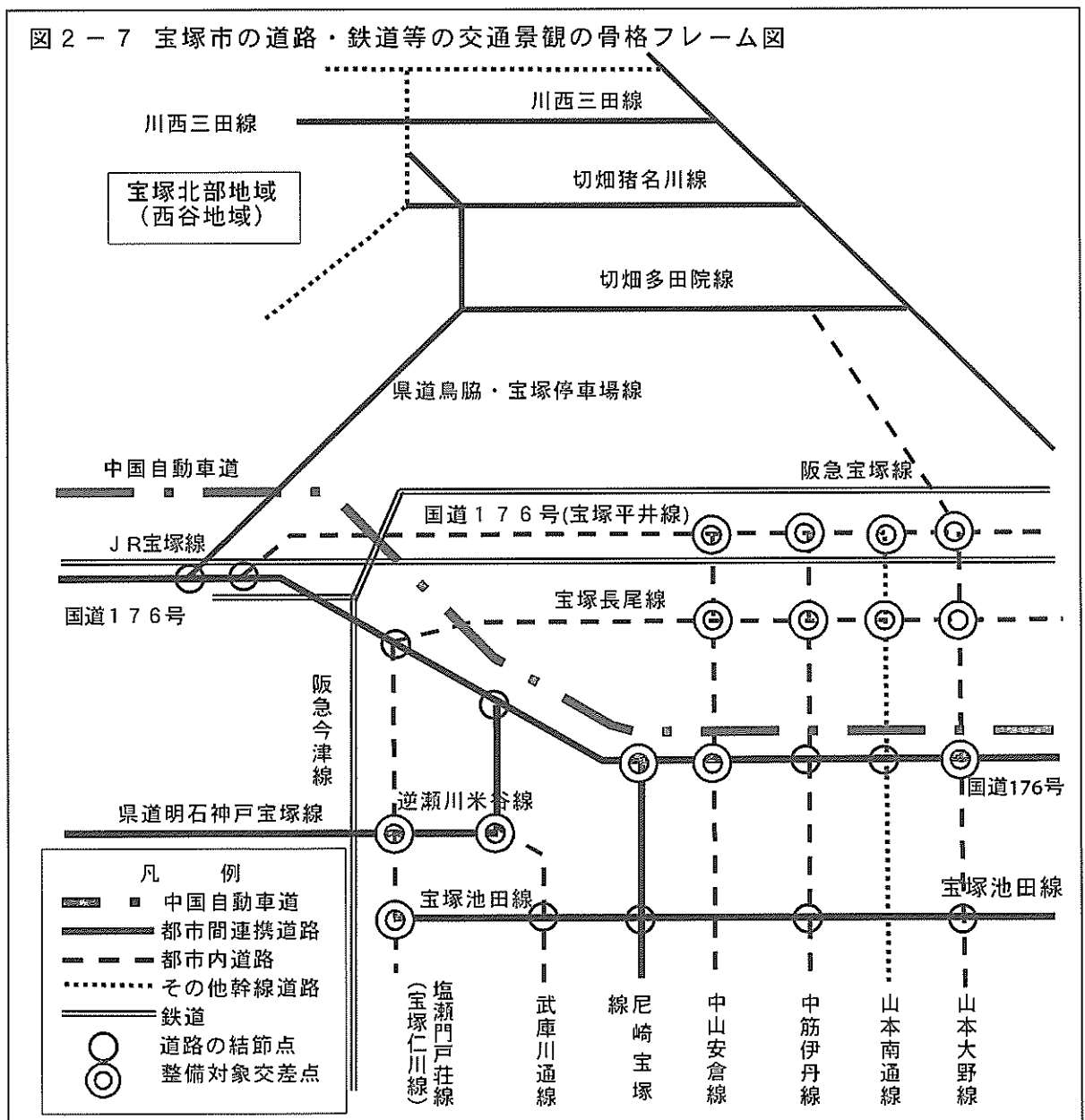
(2) ネットワーク(道路・鉄軌道)等の景観網の計画

幹線道路等の景観は、道路景観(バスからの景観とバスストップの景観)と、鉄軌道の景観(車窓からの景観と駅舎からの景観)がある。この景観は連続した景観であり、これを通じて景観の変化から市民生活の拠点がわかる。

本市の市街地における道路整備は、かなり進捗し骨格は整いつつある。武庫川左岸についてはそのネットワークはほぼ形成され沿道景観を整える段階にきている。武庫川右岸については荒地西山線、山手幹線を初め未整備部分が残されている。

道路については、幹線道路か生活道路かの性格付けを明確にし、沿道の土地利用に合わせた景観整備、特に駐車場等との関係、商業・工業・住宅等との関係などに配慮することが必要である。

特に、幹線道路では車での通過時に沿道の景観や道路焦点での山並みの見え方などにより宝塚の印象を形成することとなるので、十分検討し、路線毎に一定のルールに基づく景観形成が求められる。沿道立地の商業施設等においては、看板・広告等の取り扱いについても調整する必要がある。



宝塚市の景観網：

道路景観は、街並みであり、まちの情報を伝える。道路ごとに美しい個性のあるまちなみ景観を形成できることがわかる。歩行者空間、歩行者ルートと車との共生は、沿道に付加価値を与え、寄与するところが多い。宝塚では、鉄軌道やバスルートからの車窓景観もまちの情報を多く与える。



国道176号線宝塚駅
ターミナルへの入り口
<301> (72-26)



シンボルゾーン 宝来橋を渡る景観
<209> (55-31)



国道176号線東方向道路景観
宝塚市の基幹道路
<301> (6-25)



ファミリーランド前交差点
西方向の道路景観
<301> (10-9)



小浜宿入り口の小浜交差点から
逆瀬川米谷線<402> (67-13)



逆瀬川米谷線 シビックゾーンに
連なる宝塚郵便局
<402> (63-5)



宝塚大橋を通過、スポーツセン
ター・宝塚中学校
<401> (61-26)



小浜交差点
<402> (67-15)

「宝塚市の景観網」つづき



宝塚平井線アイストップの宝塚大劇場、六甲山系山腹の住宅地等
 <303> (10-14)



宝塚平井線と中筋中野線の交差点付近 <502> (20-16)



明石神戸宝塚線の沿道景観・緑道
 <206> (75-29)



明石神戸宝塚線に沿う歩行者専用緑道
 <206> (75-31)



塩瀬門戸荘線
 <201> (13-28)



塩瀬門戸荘線幹線道路としての道路景観形成を
 <202> (3-14)



逆瀬川米谷線
 <201> (13-10)



塩瀬門戸荘線逆瀬川米谷線との交差点
 <201> (65-21)



シンボルゾーンの道路景観大堀川公園への主ルート
 <401> (62-20)

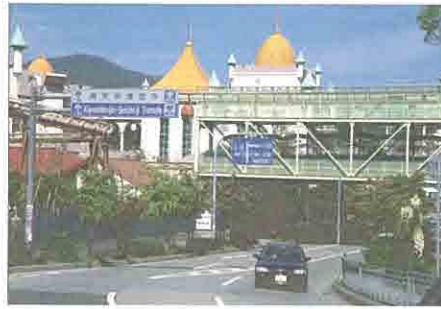


スポーツセンター等の歩行者専用緑道
 <401> (62-24)



武庫川左岸堤防上道路
 <401> (67-37)

「宝塚市の景観網」つづき



観光プロムナードと重なる
県道明石神戸宝塚線
<301> (68-1)



花のみちの宝塚南口方面への
出口、建物がランドマークに
<301> (68-31)



観光プロムナード
花の道の歩車分離
<301> (68-19)



手塚治虫記念館から
東への歩行者専用道
<301> (64-8)



宝塚大橋を宝塚南口へ
<301> (31-9)



観光プロムナード
宝塚大劇場
<203> (31-4)



観光プロムナードの
宝塚大橋
<203> (30-20)



阪急宝塚南口駅付近
景観のアンカービルディング
<207> (82-16)



宝塚南口駅から
ランドマークとなる小さな教会
<207> (82-22)



観光プロムナード宝来橋、
観光ホテル、温泉施設へ
<209> (72-24)



観光プロムナードの
宝来橋から上流
<209> (55-33)

「宝塚市の景観網」つづき



観光プロムナード
温泉街
72-17(209)



宝塚平井線（176号線）と
中筋中野線の交差点付近
遠景に甲山 20-20(502)



山本大野線
東公民館・消防署など立地
8-6(503)



中山桜台・中山五月台
への幹線道路
20-36(601)



宝塚池田線
武庫川右岸市街地と六甲
山系 4-3(103)



歴史街道の有馬街道
37-7(304)



巡礼街道
山本園芸流通センター
50-23(503)



巡礼街道
松尾神社付近
50-31(503)



巡礼街道
伝統的民家と植木栽培地
50-29(503)

次に示す道路が景観の幹線網となる。それぞれの道路網景観は、街並み景観、街路樹景観、保有する景観資源などにおいて特性を持っている。

主要幹線道路（図2-7に示した幹線道路）を景観整備道路とする。幹線道路及び沿道等における景観形成の方針は方向は以下のとおりとする。今後、短期的整備区間を順次選定して計画整備を進める。

表2-2 主要幹線道路及び沿道の景観形成の方針

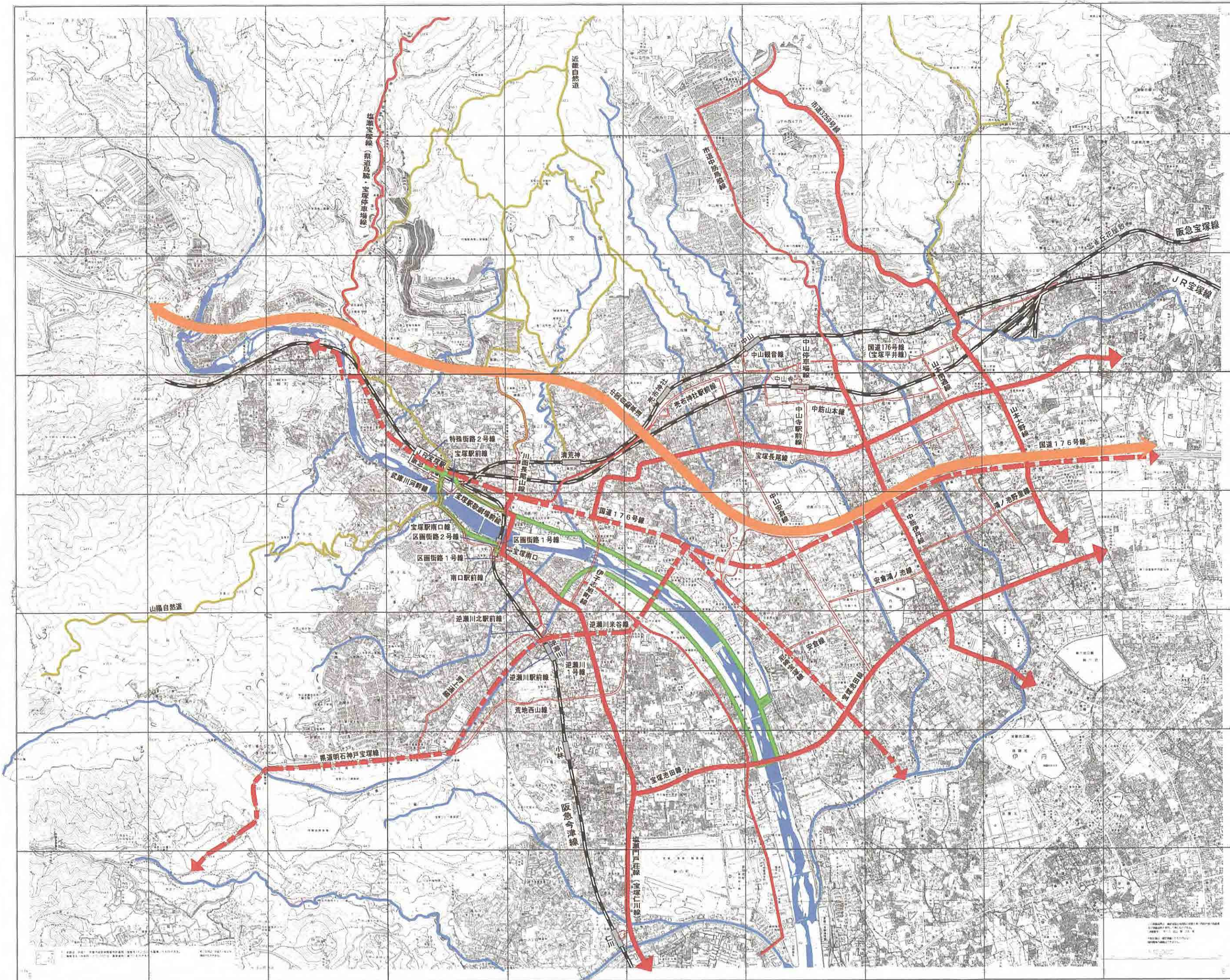
類型	主要道路名	沿道景観等の整備の方向
1. 高速自動車道	(1) 中国自動車道	防音壁・大規模構築物空間の周辺への調和を図る インターチェンジでの眺望点確保、 沿道の土地利用・建物の調整 高架構造物沿いでの緑化、オープンスペースの確保、 周辺との調和による修景
2. 都市間連絡道路	(1) 国道176号線 (中国道側道) (2) 塩瀬宝塚線(宝塚仁川線) (鳥ヶ脇宝塚停車場線) (3) 尼崎宝塚線 (4) 明石神戸宝塚線 (5) 逆瀬川米谷線 (6) 宝塚池田線	各道路の性格付け・まち場での位置付けに合わせて 個別に配慮 都市間連絡道路と地域内道路との機能調整による位 置づけの明確化 沿道空間整備は、まち場等との周辺環境に合わせて 調整(建物一階等の用途、歩行者空間の確保) 眺望点確保・街角のシンボル空間化、 シティゲート等の整備
	西谷地域 (7) 切畑多田院線 (8) 切畑猪名川線 (9) 川西三田線	生活道路と地域間連絡道路との機能調整 沿道の公的施設等との一体的環境整備(オープンス ペースの確保、街角広場等の整備) 沿道の建物調整 (歩道空間、建物高さ、建物色彩・サイン)、 眺望点・街角のシンボル空間化 沿道の集落環境・景観の保全
3. 都市内道路	武庫川右岸 (1) 塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線) (2) 武庫川通線(宝塚西宮線) 武庫川左岸東西軸線 (3) 国道176号線(宝塚平井線) (4) 宝塚長尾線 武庫川左岸南北軸線 (5) 中山安倉線 (6) 中筋伊丹線 (7) 山本伊丹線 (8) 山本大野線	各道路の性格付け・まち場での位置付けに合わせて 別に配慮 道路機能に合わせた沿道空間の整備・景観形成 生活道路としての機能調整 沿道の公的施設等との一体的環境整備(オープンス ペースの確保、街角広場等の整備)、 沿道のオープンスペース等土地利用に合わせた沿道 景観の整備 沿道の建物調整(歩道空間、建物高さ、建物色彩・ サイン) 眺望点の確保・街角のシンボル空間化 パーキングスペースの緑化及び街並み景観との調和
4. 歴史的景観 保全街道	(1) 巡礼街道 (2) 有馬街道、伊丹街道、 丹波街道 (3) 西宮街道	歴史的建造物・遺跡等との一体的な環境整備 街道等の顕彰・歴史的内容・いわれ等の揭示・顕彰
5. 中間地域の 幹線自然道	(1) 六甲山系の山陽自然道 (2) 長尾山・中山連山の近畿自 然道 (3) 西谷地域の近畿自然道 (4) 武庫川両岸の幹線遊歩道	自然植生の保全、 自然に配慮した憩い・休息・交流空間の整備 展望空間・広場等の整備 歴史的建造物・遺跡等との一体的な環境整備
6. 武庫川 河川沿い緑道	武庫川河川沿いの環状型遊歩道 のネットワーク(観光プロムナード を含む)	巡回可能でシンボルゾーン、シビックゾーンをめぐる 緑道・遊歩道の整備

交差点については、図2-7の◎印の交差点を整備対象とする。

地域内及びまち場の歩行者道は地域ブロックの景観で取り扱う。

図2-8

宝塚市の道路・鉄道等による景観の基盤図



凡 例	
	武庫川沿い歩・緑道
	緑道・ハイキングコース
	広域幹線道路 (高速自動車道)
	都市間連携道路
	主要地域内幹線道路
	その他の道路

(3) “まち場”の「構成と景観基盤となる性格」の計画

1) “まち場”の存在と構成

市域のそれぞれの場は、成立と歴史的沿革、街並みの建築物等の構成状態、構築物、より詳細な地形、歩行者ルート、道路網、地域地区の歴史的遺産等によって、個々の特徴を有する。これが“まち場”であり、このような“まち場”は、かたまりでとらえることができ、景観に性格（キャラクター：character of place）を与えている。“まち場”の存在を検索して、一覧にすると「表 2-3」に示すようになる。

本市の市街地の発展は、伝統集落群より始まったものの、鉄道開通とともに宝塚南口・中州、川面・御殿山等における郊外型戸建住宅地から始まり、大正初期の雲雀丘・花屋敷に代表されるモダンな住宅地の形成が山麓部丘陵地で行われてきた。その後昭和に入り、鉄道駅付近、道路の整備等に伴い市街地が発展してきた。昭和中・後期に入ると人口の阪神間への集中にあわせ、平坦地や山地部にも住宅地が形成されてきた。昭和後期には、山間部において大規模な住宅地開発が行われ、ほぼ現状のまちの姿を整えたといえる。

これらの市街地は、その立地場所(土地の形質と歴史性)、住宅地形成の歴史、鉄道・道路等との関係等により、空間的・景観的・社会活動的にそれぞれの独自性を持っており、特色ある“まち場”をつくっている。

まち場の一覧表では、第4次宝塚市総合計画の地域および都市計画の基本方針における地域区分、すなわちブロックに配慮してまち場をグルーピングしている。これにより“まち場”の相互関係や関連に対処できるようにする。また、景観づくりにおいて、各“まち場”と市域の景観構造を関係させて整備を進められるようにする。

景観整備の範囲、町の通りや筋の整備、市民施設の配置や個別の施設の整備、ランドマークやシンボルの整備、サイン等の調和などにくわえて維持管理についても“まち場”を基礎として関連づけることが大切である。

さらに、“まち場”を超えて小・中学校区の広がり、道路つながり、シンボルゾーンなどの拠点施設群の範囲等についても関連する“まち場”との調整を行う必要がある。

表2-3 “まち場”の位置一覧とコード番号

地域 ブロック	コード 番号	町 名
I 地域	101	駒の町、新明和町
	102	仁川北(1~3)、仁川高台(1,2)、仁川月見ガ丘、仁川高丸(1~3)、仁川旭ガ丘 仁川団地、仁川台、仁川うぐいす台、仁川宮西町、鹿塩(1,2)
	103	美幸町、高司(1~5)、大吹町、大成町、中野町、谷口町
	104	御所の前町、高松町、末成町、光明町、福井町、亀井町、伊子志(4)
	105	小林(1~5)
	106	東洋町、末広町の一部
II 地域	201	伊子志(1~3)、末広町
	202	逆瀬川(1,2)、社町
	203	中州(1,2)、南口(1,2)
	204	野上(1~6)、
	205	千種(1~4)、塔の町
	206	逆瀬台(1~6)、青葉台(1,2)、光ガ丘(1,2)、ゆずり葉台(1~3)
	207	宝梅(1~3)、寿楽荘、宝松苑、武庫山(1,2)
	208	紅葉ガ丘、月見山(1,2)、長寿ガ丘
	209	梅野町、湯本町
III 地域	301	栄町(1~3)、武庫川町、宮の町
	302	川面(1~6)、御殿山(1~4)、桜ガ丘
	303	清荒神(1~5)
	304	米谷(1~2)の一部、売布(1~4)、売布東の町、売布山手町、売布きよしガ丘、 泉ガ丘、売布ガ丘
	305	すみれガ丘(1~4)
IV 地域	401	美座(1,2)、弥生町、小浜(1,3,2の一部)
	402	小浜(4,5,2の一部)、米谷(1,2)の一部、
	403	向月町、鶴の荘、旭町(1~3)
	404	寿町、星の荘、今里町、泉町、三笠町
	405	安倉北(1~5)、安倉中(1~6)、安倉南(1~4)、安倉西(1~4)、金井町
V 地域	501	中山寺(1~3)、中山荘園
	502	中筋(1~9)、中筋山手(1~7)
	503	長尾町、山本南(1~3)、山本西(1~3)、山本中(1~3)、山本東(1~3)、 山本台(1~3)
	504	平井(1~7)、平井山荘
	505	山本丸橋(1~4)
	506	口谷西(1~3)、口谷東(1~3)、南ひばりガ丘(1~3)
	507	山本野里(1~3)
VI 地域	601	中山台(1,2)、中山桜台(1~7)、中山五月台(1~7)
	602	山手台西(1~4)、山手台東(1,2)
	603	雲雀丘(1~4)、雲雀丘山手(1,2)、長尾台(1,2)、花屋敷荘園(1~4)、 花屋敷つつじガ丘、花屋敷松ガ丘、ふじガ丘
VII 地域	701	武田尾
	702	切畑
	703	玉瀬
	704	境野
	705	大原野中部、大原野西部、大原野東部
	706	下佐曾利、上佐曾利、長谷、香合新田
	707	波豆

2) “まち場”の特性

“まち場”は歴史の継承が図られながら変遷してきた基礎的な場であり、この“まち場”の特性は、地区のアイデンティティとなっている。住んでいる人々の誇りやコミュニティ活動の基であり、景観形成においても、この特性を大切に継承し、育てていく必要がある。特に、居住者や事業者との関係に配慮することが適当である。それぞれの特徴は表2-4、5に示すように整理できる。

本市の景観整備においては、骨格的な景観基盤とこの“まち場”の特性を調整し、より豊かなものにすることが大切である。

表2-4 “まち場”の特性一覧とコード番号(その1)

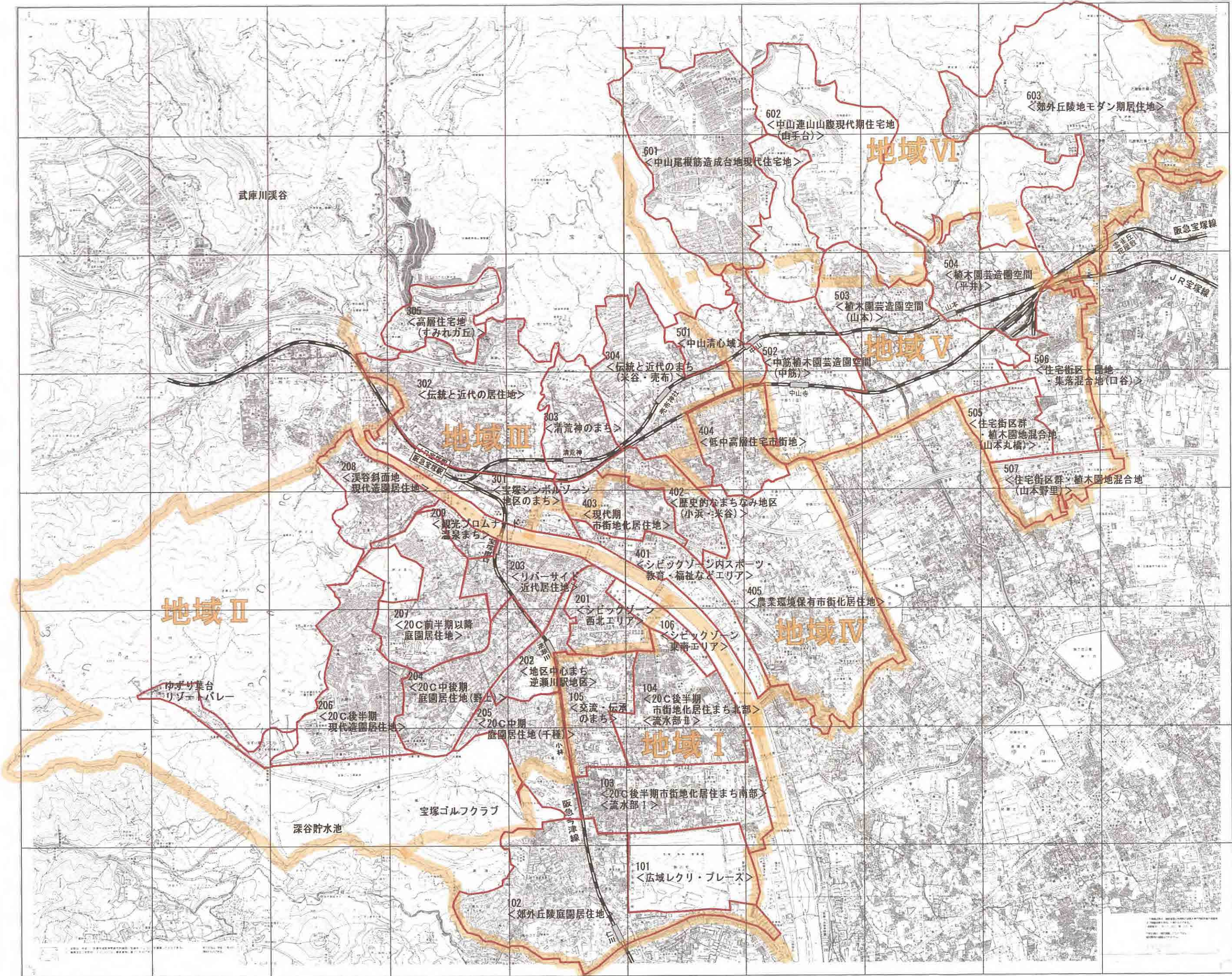
コード番号	地名(町名等)	呼称(略称)	特性
100 I 地域 武庫川右岸・六甲山系東面ゾーン			
101	駒の町、新明和町	<広域レクリ・スペース>	広域レクリエーション及びエンジニアリングのまち
102	仁川北、仁川高台、仁川月見ガ丘、仁川高丸、仁川旭ガ丘、仁川団地、仁川台、仁川うぐいす台、仁川宮西町、鹿塩	<郊外丘陵庭園居住地>	郊外丘陵庭園居住地
103	美幸町、高司、大吹町、大成町、中野町、谷口町	<20C後半期市街地化居住まち南部> <流水部I>	20世紀後半期市街地化居住街区+伝統民家小群
104	御所の前町、高松町、末成町、光明町、福井町、亀井町、伊子志(4)	<20C後半期市街地化居住まち北部> <流水部II>	20世紀後半期市街地化居住街区+伝統民家小群
105	小林	<交流・伝承のまち>	交流伝承のまち
106	東洋町、末広町の一部	<シビックゾーン東南(ES)エリア>	シビックゾーン東南エリア
200 II 地域 武庫川右岸・六甲山系東面ゾーン(表中の<>内は略称、略記のCは世紀)			
201	伊子志(1~3)、末広町	<シビックゾーン西北(WN)エリア>	シビックゾーン西北エリア
202	逆瀬川、社町	<地区中心まち逆瀬川駅地区>	地区中心のまち(逆瀬川駅地区)
203	中州、南口	<リバーサイド近代居住地>	郊外リバーサイド・大正昭和期近代住宅地
204	野上	<20C中後期庭園居住地(野上)>	郊外下位小台地・20世紀中後期庭園居住地
205	千種、塔の町	<20C中期庭園居住地(千種)>	郊外下位小台地・20世紀中期庭園居住地
206	逆瀬台、青葉台、光ガ丘、ゆずり葉台	<20C後半期現代造園居住地>	郊外山腹高位地・20世紀後半期造園居住地
207	宝栴、寿楽荘、宝松苑、武庫山	<20C前半期以降庭園居住地>	郊外山腹中位地・20世紀前半期以降庭園住宅地
208	紅葉ガ丘、月見山、長寿ガ丘	<溪谷斜面地現代造園居住地>	郊外六甲山系溪谷斜面地現代造園居住地
209	梅野町、湯本町	<観光プロムナード温泉まち>	武庫川右岸観光プロムナードまち
300 III 地域 武庫川左岸大峰山・長尾山南面ゾーン(表中の<>内は略称、略記のCは世紀)			
301	栄町、武庫川町、宮の町	<宝塚シンボルゾーン地区のまち>	武庫川左岸宝塚シンボルゾーン内のまち
302	川面、御殿山、桜ガ丘	<伝統と近代の居住地>	伝統的街村および近代居住地
303	清荒神	<清荒神のまち>	清荒神を中心としたまち
304	米谷(1,2)の一部、売布、売布東の町、売布山手町、売布きよしガ丘、泉ガ丘	<伝統と近代のまち(米谷・売布)>	米谷・売布域文化と近代居住地のまち
305	すみれガ丘	<高層住宅地(すみれガ丘)>	長尾山棚段地・現代高層住宅地

表2-5 “まち場”の特性一覧とコード番号(その2)

コード番号	地名(町名等)	呼称(略称)	特性
400 IV地域 武庫川左岸台地ゾーン(表中の<>内は略称)			
401	美座、弥生町	<シビックゾーン内スポーツ・教育・福祉などエリア>	武庫川左岸シビックゾーン内総合スポーツ等地區
402	小浜(4,5,2の一部)、米谷(1,2)の一部	<歴史的な街並み地区(小浜)>	歴史的な街並み景観保全地区(小浜)
403	向月町、鶴の荘、旭町	<現代期市街地化居住地>	現代期低層住宅街区・中高層住宅居住地
404	寿町、星の荘、今里町、泉町、三笠町	<低中高層住宅市街地>	低中高層住宅市街地(現代市街地住宅街区+残存伝統民家)
405	安倉北、安倉中、安倉南、安倉西、金井町	<農業環境保有市街化居住地>	扇状台地農業保有の市街地化居住地
500 V地域 生活緑地保登山麓・台地市街地庭園ゾーン(表中の<>内は略称)			
501	中山寺、中山荘園	<中山清心域>	中山寺を中心とする清心空間域
502	中筋、中筋山手	<中筋植木園芸造園空間(中筋)>	中山連山山麓・台地の生産緑地保全市街地
503	長尾町、山本南、山本西、山本中、山本東、山本台	<植木園芸造園空間(山本)>	中山連山山麓・台地の生産緑地保全市街地
504	平井、平井山荘	<植木園芸造園空間(平井)>	中山連山山麓・台地平井の生産緑地保全市街地
505	山本丸橋	<住宅街区群・植木園地混合地(山本丸橋)>	低中高層住宅街区群・農業集落・生産緑地混合地
506	口谷西、口谷東、南ひばりガ丘	<住宅街区・団地・集落混合地(口谷)>	住宅団地・住宅街区・農業集落・生産緑地混合地
507	山本野里	<住宅街区群・植木園地混合地(山本野里)>	住宅団地・民家・生産緑地混合地
600 VI地域 中山連山山腹ゾーン(表中の<>内は略称)			
601	中山台、中山桜台、中山五月台	<中山尾根筋造成台地現代住宅地>	中山尾根筋台地20世紀後期現代住宅地
602	山手台西、山手台東	<中山連山山腹現代期住宅地(山手台)>	中山連山山腹地現代期造形住宅地
603	雲雀丘、雲雀丘山手、長尾台、花屋敷荘園、花屋敷つつじガ丘、花屋敷松ガ丘、ふじガ丘	<郊外丘陵地モダン期居住地>	郊外低位丘陵地・近代期居住地
700 VII地域 西谷地域(下記本文の701から707までのサブユニットは地域風景のまとまりをあげており、<>内名称は集落域の略称である)			
701	武田尾	<武田尾温泉リゾート地>	
702	切畑	<切畑集落域>	
703	玉瀬	<玉瀬集落域>	
704	境野	<境野集落域>	
705	大原野中部、大原野西部、大原野東部	<大原野集落群域>	
706	下佐曾利、上佐曾利、長谷、香合新田	<佐曾利集落群域>	
707	波豆	<波豆川水系地域>	

図2-12

宝塚市のまち場の構成と分布による景観の基盤図





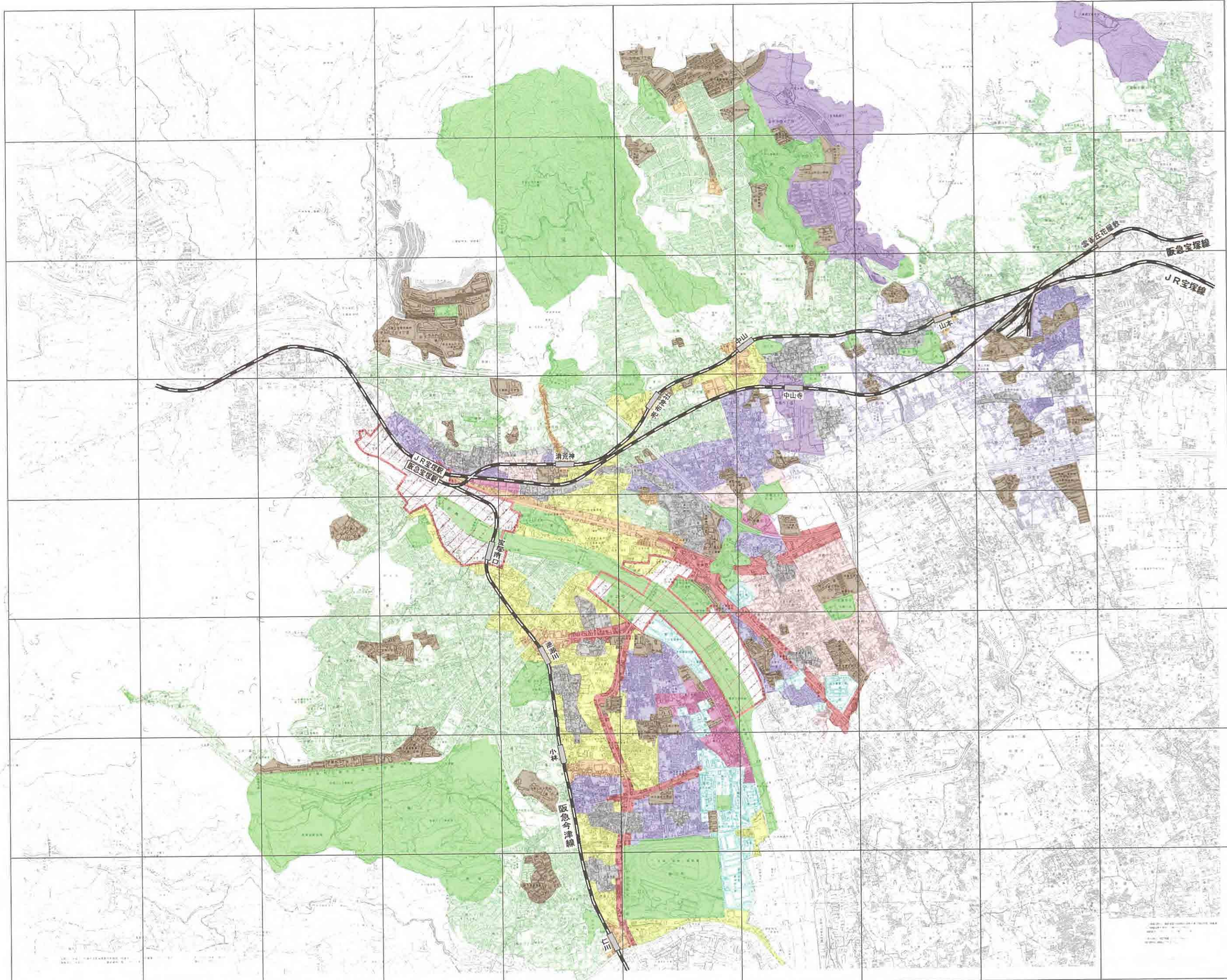
凡 例	
	地域区分線
	まち場区分線

図2-13
宝塚市の市街地タイプ別の景観基盤図



凡 例	
	Aa,Ba 商業サービス・居住空間複合景観整備地
	Bb 居住・製造サービス業空間複合景観整備地
	Ac,Bc 居住・田畑複合景観整備地
	Ac,Bd 居住・植木園芸業空間複合景観整備地
	Be,Bf 集落民家群保全景観修復整備地
	Ab 大規模オープンスペース景観保全整備地
	Ca 低層戸建住宅景観育成地
	Cb 低中高層住宅混合景観育成整備地
	Cc 中高層住宅景観整備地
	Cd 中高密度居住空間景観育成整備地
	Db 沿道景観育成整備地
	E 工場・エンジニアリング景観整備地
	Da 新市街地景観進行整備地区
	Aa シンボルゾーン、あるいはシビックゾーン計画整備地

3) 住宅地タイプ別の景観形成の方向—市街地タイプ別計画—

市域全体の地形区分に基づき、“まち場”の広がりにも配慮しつつ、土地利用・建物形式に基づく市街地タイプ別景観の種別を以下のように設定し、各タイプの方針を示す。

各住宅地においては、それぞれの特性に合わせ、以下の景観整備が考えられる。

- ① 賑わいとシンボル性のある地区特性を生かした景観形成
- ② 景観資源を活かし愛着のある街並みの保全・育成
- ③ 周辺の市街地と調和した個性ある街並みの育成・創造
- ④ 地域の歴史的街並みの保全・育成阻害要素の除去等
- ⑤ 生活環境と生産環境の調和、活力ある産業空間の創造
- ⑥ 農業環境との調和・緑ゆたかな街並みの保全・育成、歴史的資源の活用
- ⑦ 緑ゆたかな、ゆとりある街並みを保全・育成

表2-6 市街地タイプからみた景観整備計画のタイプ

A. 都市景観定着ゾーン (商業・業務地域、公園・緑地)	A a : シンボルゾーン或いは、シビックゾーン計画整備地 A b : 大・中規模オープンスペース景観保全整備地 A c : 生産緑地景観保全育成整備地
B. 都市機能表象景観エリア	B a : 商業サービス・居住空間複合景観整備地 B b : 居住・製造サービス業空間複合景観整備地 B c : 居住・田畑複合景観整備地 B d : 居住・植木園芸業空間複合景観整備地 B e : 集落民家群保全景観修復整備地 B f : 町家保全景観地区
C. 庭園化都市居住空間の 景観エリア	C a : 低層戸建住宅景観育成地 C b : 低中高層住宅混合景観育成整備地 C c : 中高層住宅景観整備地 C d : 中高密度居住空間景観育成整備地
D. 新市街地景観形成エリア	D a : 新市街地景観進行整備地区 D b : 沿道景観育成整備地 E : 工場・エンジニアリング景観整備地 F : 農業風景地域 G : 山林風景地域
E. 工場・エンジニアリング景観整備地	
F. 農業風景地域	
G. 山林風景地域	

表2-7 まち場の景観計画の背景

	市街地タイプ	道路との関係	河川との関係	備考
I地域 武庫川右岸・六甲山系東面ゾーン				
101<広域レクリ・スペース>	A a,D b	塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線)	御所水路	
102<郊外丘陵庭園居住地>	A b,C a+C b,D b	塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線)	小仁川	
103<20C後半期市街地化居住まち南部>	C d,D b	塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線)、宝塚池田線	御所水路、武庫川	
104<20C後半期市街地化居住まち北部>	C d,D b	塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線)	御所水路、武庫川	
105<交流・伝承のまち>	B a+B e,C a,D b	塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線)、逆瀬川米谷線	小林水路	
106<シビックゾーン東南(E S)エリア>	A a	逆瀬川米谷線、武庫川通線	武庫川	
II地域 武庫川右岸・六甲山系東面ゾーン				
201<シビックゾーン西北(WN)エリア>	A a	逆瀬川米谷線、武庫川通線	武庫川、御所水路	
202<地区中心まち逆瀬川駅地区>	B a,C b,D b	明石神戸宝塚線、逆瀬川米谷線	逆瀬川、武庫川	
203<リバーサイド近代居住地>	B a,C a+C b,D b	明石神戸宝塚線、塩瀬門戸荘線(宝塚仁川線)	武庫川、逆瀬川、支多々川	
204<20C中後期庭園居住地(野上)>	C a+C c	明石神戸宝塚線、	逆瀬川、支多々川	
205<20C中期庭園居住地(千種)>	A b,C a+C c	荒地西山線	逆瀬川	
206<20C後半期現代造園居住地>	C a+C c	明石神戸宝塚線	逆瀬川、白瀬川、支多々川	
207<20C前半期以降庭園居住地>	C a+C c+C c		支多々川、亥の谷川	
208<溪谷斜面現代造園居住地>	C a	塩瀬門戸荘線	武庫川、塩谷川	
209<観光プロムナード温泉まち>	A a	塩瀬門戸荘線	武庫川、塩谷川	
III地域 武庫川左岸・大峰山・長尾山南面ゾーン				
301<宝塚シンボルゾーン地区のまち>	A a	国道176号線、明石神戸宝塚線	武庫川、荒神川	
302<伝統と近代の居住地>	B a+B e,C a,D b	国道176号線(宝塚平井線)	惣川、荒神川	
303<清荒神のまち>	B a+B e,C a,D b	国道176号線(宝塚平井線)	荒神川	
304<伝統と近代のまち(米谷・売布)>	B a+B e,C a+C b,D b	国道176号線(宝塚平井線)	大堀川	
305<高層住宅地(すみれが丘)>	C c		惣川	
IV地域 武庫川左岸・台地ゾーン				
401<シビックゾーン内スポーツ・教育・福祉などエリア>	A a	逆瀬川米谷線	武庫川、大堀川	
402<歴史的街並み地区(小浜・米谷)>	B f,D b	国道176号線、尼崎宝塚線	大堀川	
403<現代期市街化居住地>	C a+C b,D b	国道176号線、宝塚長尾線	大堀川	
404<低中高層住宅市街地>	C c,D b	中山安倉中野線、宝塚長尾線	天王寺川、大堀川	
405<農業環境保有市街化居住地>	A b+A c,B c+B f,C a+C b+C c,D b	尼崎宝塚線、中山安倉線、宝塚池田線	大堀川、天王寺川	
V地域 生産緑地保全山麓・台地市街地庭園ゾーン				
501<中山清心域>	A b,C a+C b,D b	国道176号線(宝塚平井線)	足洗川、勅使川、天王寺川	
502<中筋植木園芸造園空間(中筋)>	A c,B e,C a+C b,D b	国道176号線(宝塚平井線)、中筋伊丹線	天王寺川、勅使川、天神川	
503<植木園芸造園空間(山本)>	A c,B e,C a+C b,D b	国道176号線(宝塚平井線)、山本伊丹線	天神川、最明寺川	
504<植木園芸造園空間(平井)>	A c,B e,C a+C b,D b	国道176号線(宝塚平井線)	最明寺川	
505<住宅街区群・植木園芸地混合地(山本丸橋)>	A c,B e,C a+C b,D c	国道176号線、山本大野線	最明寺川支流	
506<住宅街区・団地・集落混合地(口谷)>	A c,B e,C a+C b,D c	国道176号線	最明寺川支流	
507<住宅街区群・植木園地混合地(山本野里)>	A c,B e,C a+C b,D c	国道176号線、山本大野線	最明寺川支流	
VI地域 中山連山山腹ゾーン				
601<中山尾根筋造成台地現代住宅地>	C a+C c	中筋伊丹線	足洗川、勅使川	
602<中山連山山腹現代期住宅地(山手台)>	C a,D a	山本大野線	天神川上流	
603<郊外丘陵地モダン期居住地>	C a,D a	国道176号線(宝塚平井線)	最明寺川上支流	
VII地域 西谷地域				
701<701 武田尾温泉リゾート>	F,G,B e	中筋伊丹線	武庫川、僧川	
702<702 切畑集落域>	F,G,B e	塩瀬宝塚線、切畑多田院線、切畑猪名川線	僧川	
703<703 玉瀬集落域>	F,G,B e	塩瀬宝塚線	川下川	
704<704 境野集落域>	F,G,B e	塩瀬宝塚線	川下川、境野川	
705<705 大原野集落群域>	F,G,B e	塩瀬宝塚線	川下川、波豆川	
706<706 佐曾利集落群域>	F,G,B e	下佐曾利笹尾線、上佐曾利木器線	川下川、波豆川	
707<707 波豆川水系地域>	F,G,B e	川西三田線	波豆川	

4) 都市拠点の計画

市域には、市民生活の拠点、宝塚市のシンボルとなる施設、および施設の集合体である拠点空間がある。これらの施設等の状況は以下とおりである。

- ①市役所・ベガホール・市立図書館・宝塚大劇場などは、景観形成の基本となる建築物等であり、市民にも親しまれている。
- ②中山寺、清荒神一帯は参道、山林を含み歴史性と賑わいのある独自の空間である。
- ③旧小浜宿は歴史的な街並みが残っていて、都市景観形成地域に指定されており、道路空間や資料館なども整備されている。
- ④小林聖心女子学院周辺は、山すその貴重な緑地となっているほか、特徴のある塔ガランドマークとなっている。
- ⑤宝塚（阪神）競馬場は、大規模な建築物等と長大な歩廊等が周囲の街並みにインパクトを与えており、西宮方面から本市に入る際の景観上のゲートの景観となっている。
- ⑥あいあいパーク（宝塚園芸振興センター）はガーデニングの拠点として、周辺の溜池や公園と一帯となっておしゃれな空間、広がりのある魅力的な景観となっている。

これらの都市拠点等の景観整備は図2-15の示す範囲において行い、表2-8に示す方針とする。さらに本市では、市街地発展の経緯を示す多くの歴史的・文化遺産を受け継いでおり、市民生活とも密接な関係にある。歴史的・文化資産としては図2-14 歴史的・文化的資源図に示すように、旧街道等と神社・仏閣等を挙げることができる。

道の景観としては、①巡礼街道・有馬街道・丹波街道・西宮街道などの歴史街道、② a. 中間部の自然道（山陽自然道、近畿自然道およびハイキングルート等）、b. 農耕地を通り集落を結ぶ道、c. 北部地域の農道、③近・現代期に整備が進められた幹線道路がある。

この道の系に対して多くの神社仏閣があり、清荒神、中山寺、最明寺、塩尾寺、宝塚神社、平林寺、伊和志津神社など、京阪神からもお参りにくる著名な名刹所となっているものもある。

これらを景観形成のネットワークに組み入れるだけでなく、近くの川・溜池等の水辺空間と校庭等の学校空間を一体的に考え、水・緑・文化施設等の拠点形成と景観のネットワーク化を図ることにより、歴史性・文化性の奥深い都市景観形成を推進することができ、市民生活に潤いをもたらすとともに、まちの活性化に役立つこととなる。

5) 眺望点・展望点の景観

道路上のポイントや河川に架かる橋上等をはじめとして、平坦部市街地内の眺望点から望む六甲山系・長尾山系の緑豊かな山並みは、市街地景観の背景となり、市民にうるおいとやすらぎをもたらしている。また、山頂につながる自然道の分節点、山腹のまち場の公園・広場等から市街地を見下ろす眺望は人の目を楽しませ、一望にして宝塚のまちの様相を確認しやすいものになっている。

一方、市街地の中心部を流れる武庫川は都市内にあって貴重なオープンスペースであるとともに、岸边や橋上からの眺望は広がりがあり雄大である。

このような地形の特性による宝塚固有の眺望・展望景観は市民共有の財産であり保全する。さらに、宝来橋、宝塚大橋、宝塚新大橋、武庫川新橋等からの眺望・展望の方針をより具体的に検討し、影響する開発や橋建築物等を制御する。

「宝塚市の都市拠点」

都市拠点は、自然造形による景観基盤、道路などの景観網の上で都市の景観構造を明確にさせる。市域の都市景観構造を完成させ、まち場とともに景観に社会性や性格を与えている。



シビックゾーンのシンボルである宝塚市役所と市議会 <106> (66-21)



シビックゾーン武庫川河川敷緑地から望む宝塚大劇場
<106> (66-24)



シビックゾーン
総合体育館前のひろば
<401> (63-1)



宝来橋上（観光プロムナード上）から阪急宝塚駅へ
<301> (52-15)



宝来橋たもとの阪急宝塚駅まわり
<209> (16-31)



阪急宝塚駅コンコースから
宝来橋 <301> (33-24)



宝塚ソリオから
阪急宝塚駅南広場へ
<301> (68-25)



宝塚ソリオ・花のみちへ
<301> (68-26)



花のみちとサンク・ガーデン
<301> (68-10)

「宝塚市の都市拠点」つづき



シンボルゾーンの観光プロムナード・花のみちは代表景観
 <301> (68-18)

花のみちから
 対岸の温泉街
 <301>
 (68-14)



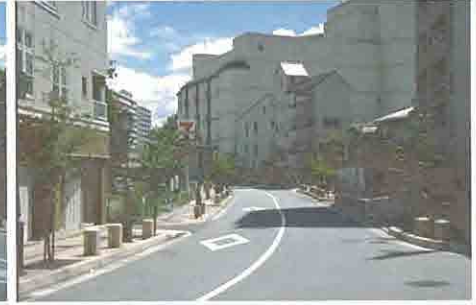
観光プロムナード沿い
 手塚治虫記念館
 <301>
 (64-25)



宝来橋から宝塚大劇場
 52-6 (209)



観光プロムナード
 宝来橋から温泉街へ
 52-12 (209)



観光プロムナード
 宝来橋から温泉街へ
 52-12 (209)



阪神競馬場は内包する
 大空間をもつ
 83-27 (101)



阪神競馬場は阪急仁川駅
 と大回廊空間でつながる
 83-23 (101)



阪神競馬場のオープンスペース
 83-34 (101)



逆瀬川上流とゆずり葉緑地の
 オープンスペース拠点
 75-35 (206)



逆瀬川駅から
 商業核アピアのデッキ
 81-10 (202)



阪急清荒神駅前の
 ベガホール・中央図書館
 38-34 (303)

「宝塚の都市拠点」つづき



あいあいパーク
88-21(503)



あいあいパークの中の日本庭園
88-29(503)



東公民館、橋谷池、
長尾南小学校一帯
88-18(503)



園芸流通センター内
88-29(503)



清荒神清澄寺の境内
72-34(303)

「神社・仏閣等の
歴史的・文化的遺産」



清荒神境内
73-1(303)



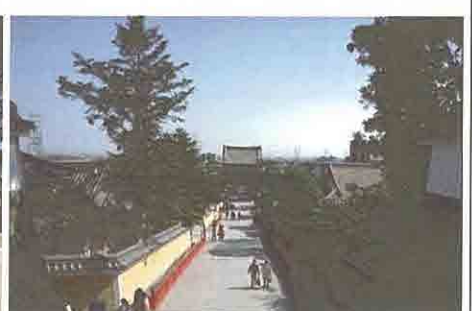
清荒神境内山門
出口に向かって
73-2(303)



中山寺境内参道から本堂へ
33-29(501)



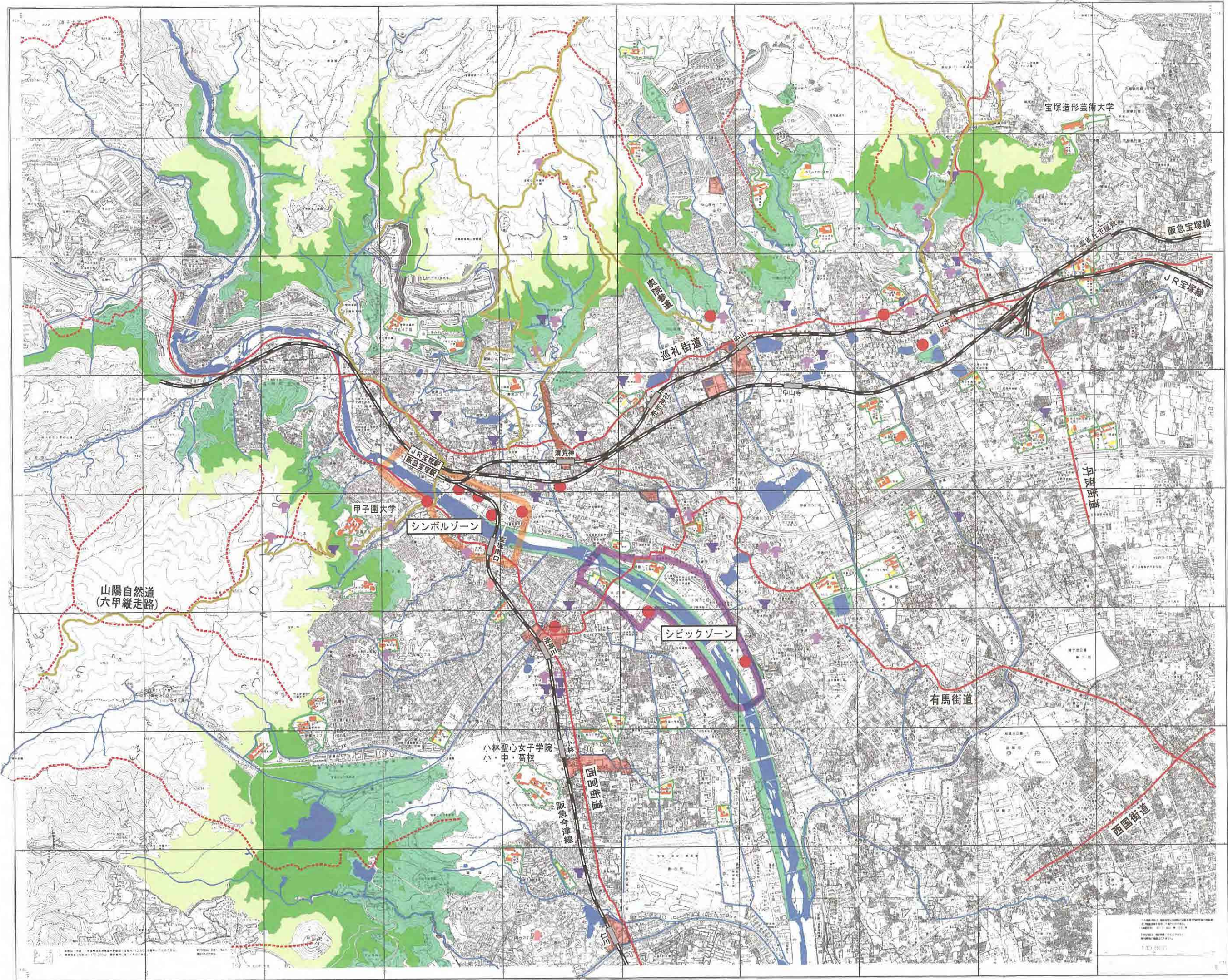
中山寺境内
43-3(501)



中山寺境内から参道
43-4(501)

図2-14

宝塚市の歴史的・文化的資源による景観の基盤図



凡 例	
	山・緑地
	河川・溜池
	学校
	神社・仏閣
	他の主要施設
	主要街道
	緑地・ハイキングコース
	主要稜線
	シンボルゾーン
	シビックゾーン
	近隣商業地

表2-8 拠点空間資源と景観整備の方針

拠 点	具体的な施設名	景観整備の方針
シビックゾーン	市役所、消防本部、宝塚新大橋・武庫川河川敷緑地 総合運動公園、 宝塚郵便局、JA兵庫六甲、逆瀬川米谷線、等)	市を代表する顔、市民の憩い・交流の場、 市民の社会活動の場として充実・強化
シンボルゾーン	宝塚駅街区(駅舎、ソリオホールなどをもつ 複合空間、駅前広場)、 花の道と街並みを構成する諸施設 (宝塚大劇場、パウホール、ファミリーランド等)	市を代表する顔、 賑わい、交流、アミューズメント等の 複合的中心拠点
阪急電鉄宝塚線 及び今津線の駅 前街区及びJR 宝塚線駅前街区	清荒神駅街区： 売布神社駅街区：ピピアめふ 中山駅街区：中山寺門前町 山本駅周辺(園芸・園芸産業(宝塚園芸振興センター (あいあいパーク)、巡礼街道等)) 宝塚南口街区、逆瀬川駅前街区 小林駅前街区、 仁川駅前街区、 JR中山寺駅前街区	市及び地域を代表する顔 市民生活の日常の拠点 多様な都市生活を支える基礎核 地域の顔・シンボルとなる景観整備 市の歴史・文化等のふれあいの拠点 拠点の地形・傾斜と水系を活用 景観を阻害する個別の改造・建設の制御
市街地の上位 施設	市域及び広域の公共施設の核 (宝塚警察署、兵庫県阪神北県民局) 総合福祉センター・クリーンセンター・ 教育総合センター 中央公民館・東公民館・西公民館 (周囲あるいは隣接の施設(小学校など) 公園・溜め池などと一体的な景観拠点)	
学校	小林聖心女子学院 宝塚造形芸術大学 甲子園大学	地域の顔・シンボルとなる景観整備 文化環境地区の核、ランドマーク
阪神競馬場		ランドマーク、 堀・外周部空間における景観整備
宝塚インター チェンジ	(長距離バスストップ)	市のシティゲート
歴史的環境 保全地区	小浜景観形成地域、中山寺、清荒神 雲雀丘住宅地区	歴史・文化等のふれあいの拠点
その他 神社・仏閣	清荒神、中山寺等の南部市街地域におけるその 他の神社・仏閣 宝塚教会 幼きイエズス修道会、カンリック黙想の家	歴史・文化等のふれあいの拠点
武田尾温泉		西谷地域の玄関、 宝塚のレクリエーション核
西谷地域	満福寺、上佐曾利木器線、普門寺・天満神社、 宝山寺・大原野神社、普光寺・上佐曾利木器線、 波豆八幡神社・普明寺、法泉寺・琴平神社 萬正寺・住吉明神	集落の中で、ランドマークとなり、歴史 の伝承および無形文化財の伝承の場とな っている。 歴史・文化等のふれあいの拠点 近畿自然道等の遊歩道によりを地域全体 の神社仏閣等をネットワーク化する。

2-5. 南部地域の都市の基本的要素の配置

1. 都市の基本的要素となる景観要素

本市の中心部である南部市街地において、都市景観における基本的要素を表2-9に示すとおり体系づける。

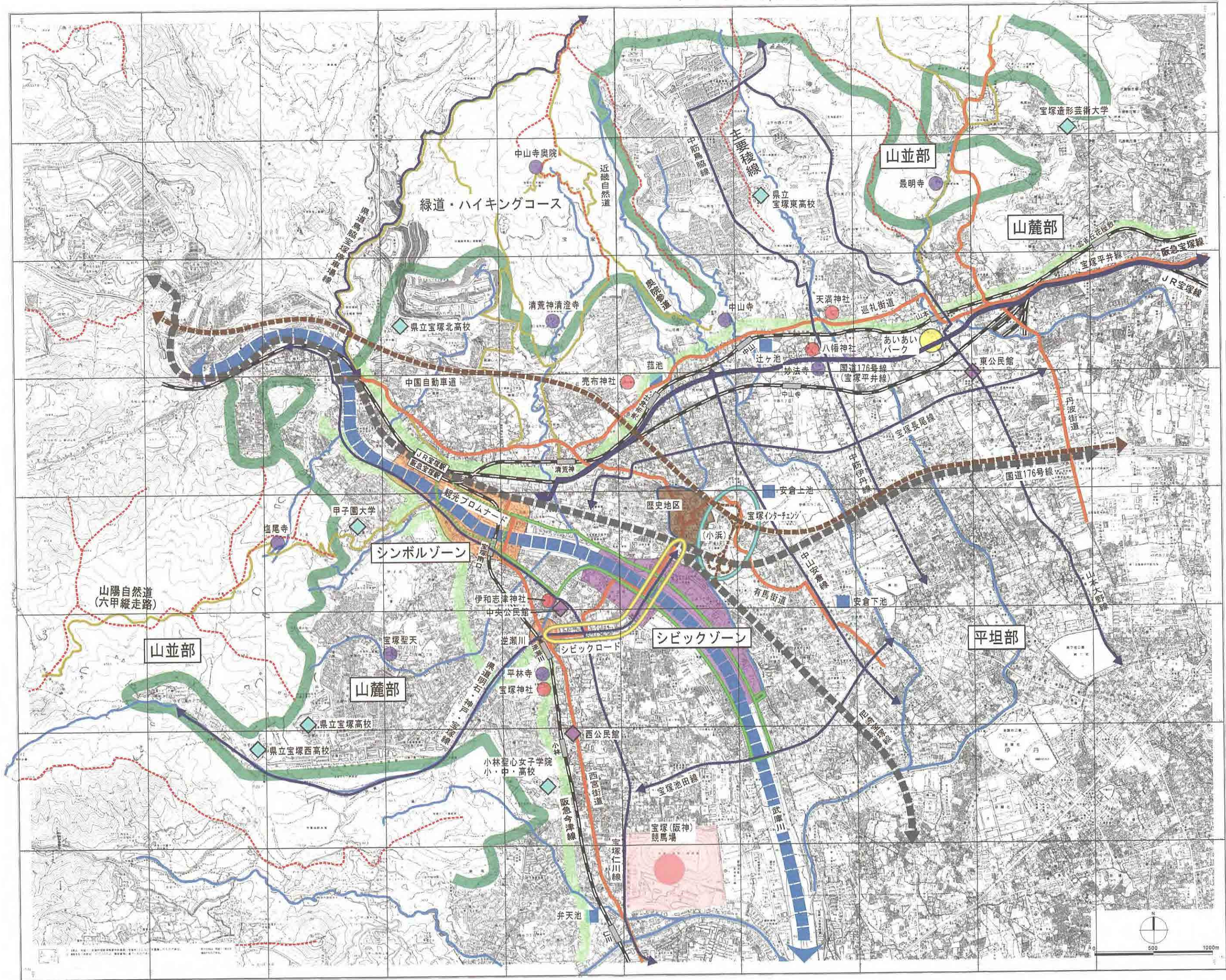
主として以下の要素を「景観の基本的要素」として捉え、市域全体の総合的な景観形成方針を示す。

景観の基本的要素の配置は図2-15に示すとおりである。

表2-9 南部地域の都市の基本的な景観要素の体系

主要景観	分類
① 地形的な特性に基づく、 “中間地域部” “山腹部・山麓部”、“平坦部（段丘台地）” “主要河川”の景観	[地形区分]
② 多数の人々が通行する道路等の移動空間の景観	[軸・連続景観]
③ 多数の人々が集まる拠点・建物群の景観	[拠点・核景観]
④ 市の歴史・文化を代表する地区及び建物、 市のイメージにつながる施設及び構築物、 溜池などの景観	[シンボル景観]

図2-15
宝塚市の基本的な
景観要素の配置図



凡 例	
	主要地域内道路
	都市間連携道路
	巡礼・有馬・西宮・丹波街道
	主要稜線
	緑道・ハイキングコース (山陽自然道等)
	武庫川沿い歩道・緑道
	観光プロムナード
	シビックロード
	シンボルゾーン
	シビックゾーン
	歴史地区
	宝塚インターチェンジ
	神社・仏閣
	武庫川
	主要河川
	溜池
	公民館
	学校
	阪神競馬場
	あいあいパーク